

fukinoto

市立秋田総合病院広報紙

ふきのとう

2022
春号
No.046



着々と進む
新病院建設工事

新病院建設工事について

新病院建設工事は、令和4年10月の開院に向けて、施工を進めております。医療棟は3月に上棟となっており、内装、外装工事や設備工事を順次施工しています。

また、管理棟も屋上階までの躯体工事が終了し、今後も順次、内装や外装工事を行ってまいります。安全第一に作業を進めてまいりますので、引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

◆写真(現在の状況2022.3.2)



◆内装状況



◆病院改築スケジュール

	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
立体駐車場建設								
新病院建設		基本設計	実施設計		新病院建設工事 医療機器等整備 医療情報システム整備	開院準備 ●開院		
旧病院解体・外構整備								

※工事進捗状況により、今後変更になる可能性があります。

◆新病院移転作業工程(案)

開院予定日の前後は、引越作業のため、外来診療等の休診を予定しております。
ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

R4. 9/17~ 10/5	9/17	9/18	9/19	9/20	9/21	9/22	9/23	9/24	9/25	9/26	9/27	9/28	9/29	9/30	10/1	10/2	10/3	10/4	10/5	
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口	
移 転 日 (患者搬送日)															★					
外 来 休 診												×	×	×			×	×		
手 術 制 限										抑制	抑制	抑制	抑制	1室	1室	1室	1室	1室		
救 急 制 限														▲	×	▲	▲	▲		

外来休診：× 休診
救急制限：× 受入一切無
：▲ 検討中

外来診療開始

※令和4年3月31日現在の予定です。今後変更になる可能性があります。



地域医療連携の会 会員紹介

医療法人杜の樹 立木医院 院 長 立木 裕 先生



当院は2004年10月に泌尿器科・血液透析の専門医院として保戸野鉄砲町に開業しました。2015年には、医院増築工事をおこない透析部門を別棟として、オンライン血液透析などの最新の治療ができるように整備を行いました。秋田市のクリニックでは珍しいのですが夜間透析や在宅血液透析もおこなっています。看護師、臨床工学技士、看護助手、医療事務の総勢21人（院長を入れると22人）がそれぞれの専門を生かして日々の診療に励んでいます。

私達が日々心がけていることは「やさしさ」です。当院のイメージ（医院のトレードマークを見ていただきたいのですが）は樹木のような「やさしさや心地良さ」です。泌尿器科の外来は受診しにくいとの話をよく聞きます。排尿の事を相談するのは恥ずかしいとか、検診の精密検査に行くのが恥ずかしいし怖いとか。また、透析は一生続けなければいけないので大変だな

- 診療科目：泌尿器科、内科、血液透析内科
- 資 格：日本泌尿器科学会専門医、日本透析医学会専門医

ど。その様な時にこそ、やさしく寄り添う事ができる医院を目指しています。

最後になりますが、日頃から市立病院の先生方や職員の皆様には大変お世話になっております。通常の紹介から救急搬送、逆紹介などさまざまなご支援をいただきありがとうございます。今後も市立病院の連携医療機関として、また、微力ではありますが地域医療に貢献できるよう日々努力を致します。地域の皆様も、どうぞ宜しくお願いします。



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:30~12:30	●	●	●	●	●	●	×
15:00~17:30	●	×	●	×	●	×	×

※午後の一般診療は休診とし、特殊外来（時間のかかる治療・処置が必要な方）のみの完全予約制になります。

スギ花粉について

耳鼻咽喉科 工藤 和夫

秋田では、3月中旬から4月までスギ花粉、5月からカモガヤ花粉が飛散します。花粉の特徴としてスギ花粉は遠くまで飛びますが、カモガヤはそれほど遠くには飛びません。カモガヤに関しては家の周りを除草することである程度症状を防ぐことができます。なかなか対応が困難なスギ花粉症について述べたいと思います。

スギ花粉の症状は、鼻水、くしゃみ、鼻閉、目のかゆみ、時に喉の違和感などです。新型コロナと区別が困難なケースもあります。スギ花粉症では多少熱感があることがありますが、38度を超えるような発熱は通常ないとされています。スギ花粉にはクリジェー1（花粉の表面にある）とクリジェー2（花粉の内部にある）というタンパク質があり、これらがアレルギーの抗原として働きます。

アレルギーのメカニズムですが、スギ花粉（抗原）に鼻腔粘膜にあるIgE抗体、さらに肥満細胞（骨髄由来）の3つが結びついて起こります。結びつくことで肥満細胞から主にヒスタミンが遊離し、症状が出現します。

治療は主に抗ヒスタミン剤の内服です。薬物の効果がでるまでタイムラグがあるので、秋田であれば3月に入った時点での内服開始がよいと考えます。その他、ここ数年で二つの新しい治療法が開発されてきています。一つは舌下免疫療法です。薬品名はシダキュアで、口腔の粘膜にのせて使用する錠剤です。作用機序は明確には分かっていませんが、シ

ダトキュアの中のスギ花粉の成分で、徐々にスギ花粉に敏感に反応しないように慣らしていくというものです。数年治療を続けて、効果が出るもので、即効性はありませんが、根本的に治す可能性を秘めた治療法です。もう一つは、商品名がゾレアというIgEの抗体製剤です。このゾレアはIgEと結合し、その機能を減弱する効果があります。画期的な薬物ですが、高価で、重症例が適応になります。

秋田は秋田杉で有名ですが、花粉の飛散量は東京などに比べるとかなり少なく、スギ花粉症の有病率も少ないとされています。通常、アレルギー性鼻炎はハウスダストやダニを抗原として幼少期に発症します。さらにその中の一部の方は花粉にも過敏性を獲得し花粉症を発症します。ただ、今までアレルギー性鼻炎がない方も突然花粉症を発症することがあります。これからの時期、花粉症の人は症状が出ないように、花粉症でない人は花粉症にならないために、マスクをお勧めします。



部門紹介

臨床検査科

臨床検査科では臨床検査技師30名、看護師2名、助手8名の合計40名により業務が行われております。主な業務は、外来採血・一般検査・血液検査・生化学検査・輸血検査・微生物検査・生理検査・超音波検査に分かれており、各部門で認定資格などを積極的に取得し、専門的な検査が行われております。

◆採血部門

主に外来患者さん200～300名／日ほどの採血を、看護師2名＋検査技師3～4名で行っております。

◆一般検査

尿・便(潜血)・髄液・穿刺液などを検査します。尿検査では尿蛋白・尿糖・尿潜血などの成分を調べる他、顕微鏡を用い細胞などを詳しく調べます。

◆血液検査

血液中の細胞数(赤血球、白血球、血小板)やヘモグロビン値などを自動分析装置を用いて測定し、顕微鏡を用い異常細胞の有無などを観察します。骨髓像検査でも同様に顕微鏡で細胞の観察を行います。また、凝固線溶検査も行われており、出血性疾患、血栓性疾患に有用な検査となっています。

◆生化学検査

採取した検体に含まれる蛋白、脂質、電解質、血糖などの成分を全自動分析装置を用いて測定しています。また、体内の腫瘍から産生される

腫瘍マーカーや内分泌系(ホルモン)、感染症検査、血液ガス分析などの検査も行われております。

◆輸血検査

血液型検査や不規則抗体検査、交差適合試験(輸血可能な血液かを調べる)、輸血用血液製剤の保管・管理、手術に備え患者様ご自身の血液をあらかじめ貯血しておく「自己血」の調整・保管を行います。

◆微生物検査

インフルエンザウイルスなどの感染の有無を、専用キットを用い調べます。また、尿・喀痰・糞便などの検体から感染症の原因となる微生物を見つけ出し、さらにその菌にはどのような抗菌薬が有効なのかも調べていきます。

◆生理検査

心電図・ホルター心電図検査、血圧脈波検査、肺機能検査、脳波検査、聴力・平衡機能検査、眼底検査、味覚検査、神経伝導検査、聴力脳幹反応検査、新生児聴力検査、終夜血中酸素飽和度検査などが行われております。また、心臓カテーテル検査チームの一員としてカテーテル検査にも立ち会っております。

◆超音波検査

超音波機器を用い、腹部超音波検査(肝臓・胆嚢・膵臓・脾臓を中心に観察)、心臓超音波検査、泌尿器超音波検査(腎臓・膀胱・前立腺を主に観察)、乳腺超音波検査、甲状腺検査、血管超音波検査(頸動脈・腹部動脈・下肢動脈・下肢静脈を主に観察)などが行われております。また、医師の検査や治療にも補助として立ち会います。



COVID-19
LAMP法の機械



感染症の機械
COVID-19の抗原検査
にも使用します。



COVID-19
抗原検査中



細菌同定中

ホームページのリニューアルについて

4月から当院のホームページが新しくなります！

当院のイメージカラーの若草色をアクセントとし、高齢者や障害を抱えている方だけでなく、多くの方が利用しやすくなるよう、ウェブアクセシビリティ規格である日本規格協会 JIS X8341-3 に基づき作成いたしました。

これからも誰にでも見やすく使いやすいホームページを目指していきます。



病院機能評価の認定が更新されました。

当院では、公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価の認定を平成17年から受けていますが、この認定は5年間とされており、新型コロナウイルス感染症のため1年延期となっておりましたが、昨年6月に3度目の更新のための審査を受けました。

そして12月に審査結果が発表され、無事認定更新となりました。

新病院でもこの水準を維持し、良質な医療の提供に努めて参ります。



▲認定証（一般病院2）



▲認定証（精神科病院）

■病院機能評価とは（日本医療機能評価機構HPより抜粋）

病院機能評価は、病院が組織的に医療を提供するための基本的な活動（機能）が、適切に実施されているかどうかを評価する仕組みです。評価調査者（サーベイヤー）が中立・公平な立場にたって、所定の評価項目に沿って病院の活動状況を評価します。病院機能評価の審査の結果、一定の水準を満たしていると認められた病院が「認定病院」であり、認定病院は、地域に根ざし、安心・安全、信頼と納得の得られる医療サービスを提供すべく、常日頃努力している病院であると言えます。

患者の権利

1. 個人としていつも人格を尊重される権利があります。
2. 誰でも平等に良質で安全な医療を受ける権利があります。
3. 十分な説明を受け、自ら治療法を決定する権利があります。
4. 自分が受けている医療について知る権利があります。
5. 医療を受けるときに主治医以外の意見（セカンドオピニオン）を聞く権利があります。
6. あなたの医療上のプライバシーが保護される権利があります。
7. 自分が受けている医療について苦情を申し立てる権利があります。

市立秋田総合病院

理 念

- 市立秋田総合病院は、すべての人々の幸福のため、良質で安全な医療を提供し続けます。

基本方針

- 常に医療水準の向上に努め、地域の中核病院として多様化する医療への要望に応えます。
- 患者さんの権利や意思を十分に尊重し、診療情報の提供による相互理解に基づく医療を行います。
- 医療の安全のさらなる向上に努め、患者さんが安心できる医療を行います。
- 職員にとり働きがいのある就労環境の整備に努め、質の高い医療人を育成します。
- 業務の改善と効率的な運営に努め、健全で安定した経営基盤を確立します。

編集・発行／市立秋田総合病院 令和4年3月31日発行

〒010-0933 秋田県秋田市川元松丘町4番30号 Tel (代表): 018-823-4171 Fax: 018-866-7026

E-mail: ro-homn@city.akita.akita.jp http://www.akita-city-hospital.jp/